悪風があつたが爲めに國内の音

ら職盟の行動が果して削減

だして見なければなられ、然し信能をするには先つ悪して新徳な動産を成立ないかさ云ふ問題を成めまるかないかさ云ふ問題を成める。 然もは

□ 浸入つた今日ごしては様に続りで さ云ふさ、エール大學に在る外交 こ云ふさ、エール大學に在る外交 になるかであるかが であるかが現今非常な不服無に であるかが

が自動師に經濟封鎖を行つたこと

の 類の 解性で か、 門 戸 脈

すべいで陸軍省所管事務につき打合せた。 中司 中官師 国長 會議

政・を要素さらのを表える同じたて政策を を表するの方針。を抱きな変変の確立及び宣传 変の整理、思想教育對策、農村財産 変の整理、思想教育對策、農村財産 を表するのでは、 変のを表するのでは、 変のを表するのでは、 変のを表する。 変変の確立及び宣传 を表する。 変えの話計畫を を表する。 変えの話計畫を を表する。 変えの話計畫を を表する。 変えの話計畫を を表する。 変えの話計畫を を表する。 変えの話計畫を を表する。 のによりたの話計畫を を表する。 のによりたの話計畫を を表する。 ののでは、 のがよりた。 のがよりた。 のがよりた。 のがまた。 のでは、 のがまた。 のでは、 のがまた。 のがな。 のがまた。 のがな。 のが。 のがな。 の

四國條約

の英國案

佛外相に通告書手交

せず、健つて現内閣の存在そのも

高を蘇根、小山法根の意思を敬しては戦を指しては戦を強しては戦をない。

である。
である
である

前線を縮小

何柱國軍の秘密會議

めて慰留すること、なった

四日幹部會

へ今後の政局劉案について齋藤首は

民政黨の諸計畫

紫の側張に全力を傾注するに決し を主張及び感策確立の徹底及び黙 軍將領さ秘密食識の結果は山海鶥 反演車はこれにより一様されたが 東京三日愛」既疎薫では今後出 那軍は大洋領から撫索松離繋方廊 【奉天電話】皇軍の〇〇〇一帯の 本るだけ現内閣を支持して薫の註 に販走しつ、あり何毬園は一日各 より長暖線〇〇〇、〇〇〇一帯の で、東京三日愛」既疎薫では今後出 那軍は大洋領から撫索松離繋方廊 【奉天電話】皇軍の〇〇〇協議に 地震となる大阪で、大阪でる大阪である。 「本の一様されたが で、本の一様されたが

、のみならす癥いて前途に

高橋、小

小山兩相に

首相改めて慰留す

「本天電話」皇軍の追撃に響撃の を では、 を できる。 で

の るとは時の問題であるここを察知 ・ 一切を擦へ漸州國に勝願を託され たいこ某参謀を特派と非公式に懸い はたいこ某参謀を特派と非公式に懸い はたいこ某参謀を特派と非公式に懸い はたいこれが の るとは時の問題であるここを察知 ・ はたいこれが ・ であるここを察知 ・ である。

の概念とは原容を建直すさ ・あり、○○機の ・であるが、○ ・であるが、○ ・であるが、○ ・であるが、○

四日午前三相ご會見

の館とまに次の迷れな事

本では、また意義もないものを見られるには、また意義もないもので見られるには、おいては未替有の形大・影響が乗にしたけれどもインフレ政策・少らも受響されたよう、巨難公康・一般の演化また極めて豪虐すべき震情、にあり、騰つて嵌入不足に伴びいる。というり、騰つて嵌入不足に伴びいる。というり、騰つて嵌入不足に伴びいる。

多倫に在る湯玉麟

對滿誠意披瀝

前非を悔い

代表特

望みは後繼内閣難に繋ぐのみ

情勢依然として暗澹

内閣

行發日三月四

男 木 鈴 人行赞 治代喜本橋 人輔編 盛武 村本 人剛印 地番一情而關公東市連大 社報日洲蔣社會式株所行發

能か

戦傷病の勇士

勇士の慰霊祭 四日午前七時 着連

れが為め諸計量を樹立すべく四一日の幹部會に附議する答 四日午前八時半埠頭で

法省は今年度 から開く

損金部運用計畫

新規融資には觸れず

今月中に運用委員會

カフエー・ライラック

金を買った構良 海岸の砂の上

新華名古屋一八三九 養 鷄 之 日 本 社

赤い水着(こ)

▲里見甫氏(滿洲國通信社主幹)

はるびん丸四日午前七

んさした運動なごを見て居るわけではなかったへとまなのだ。 一連り竹を動かすさ、老人は、 「この運動は悪くないな」

軍元祖軍元祖 「カタログ進呈」

お仕入は直接製造元

名古屋市中區鐵砲町三丁目

加藤ゴム製屋市東區今池町

型八二九番 製造所 製造所

見本無代進品

を触れの事に決 司法官士 會同

文那側の煽動に

朝新京より歸任

ム氏(コロンジャ會が順通

◇台頭

丁三團、騎兵百三師の第

北支民衆躍らず

熱河戦の及ぼした影響

二浦中佐寄連語る

天津駐屯軍より岡山聯隊に転任せて連島の途来連らたが最近の北支

流石に王道國家さ

小数 の兵力で、これに對抗 してあるのだが、何時でも事に 態で得るよう話般の緊急準備は 態で得るよう話般の緊急準備は 態で得るよう話般の緊急準備は 地平であるのに紅附き金々職急を 大くしてあるし、一般も、何時 日本軍が、何等かの口質を以で 日本軍が、何等かの口質を以で 日本軍が、何等かの口質を以で 日本軍が、何等かの口質を以で 日本軍が、何等かの口質を以下 日本軍が、何等かの口質を以下 日本軍が、何等かの口質を以下

0

凝州附

【山海關二日餐】昨夜菜方面より 支那軍集中 近に

加國棉花協會

加立發會式

滿

二日奉天省公署で舉行

は、世にも憧れな寒見だつたのでだったが、その話しによるこ、彼

来るだけ豊富に本部からの特議員、述べた通告書を手変した、右通告。 國軍権家に警控に關聯し且つ平和門にかけ行はれる全国市議選に出 條約家に關する英國政府の見解を 首相が一般車総會談に提出した英国中部議長遊散計畫は四月から八 壁じムッソリーニ首根の四國協力 (統領家でその内容は先穀マツク英)であるさいはれてゐる 一次の月報を設計畫は四月から八 壁じムッソリーニ首根の四國協力 (統領家でその内容は先穀マツク英)であるさいはれてゐる 一次の月朝家を講覧立案のため政務 「バリニー日養」駐佛英國大使チレ 表は新聞紙の報する所に使れば完 「條約改定の點に關してムツソス第の月朝家を講覧立案のため政務

表出席と記念撮影

聯盟脱退と我海軍下

るが、さうなれば外面は日安藤國さいなるのであらうさいふ者があ 日本は必然変那を經濟封鎖するこ

のであるから後顧の愛があつてはなっているから後顧の愛があつてはる

海軍大佐

根

郁

平

經濟封鎖をしてこまるものは

日本よりも寧ろ列國

統治下に在る南洋群島は現状の端れ法理論を主張する者を除き こうなるかで云ふこさが を響まうさ思つて居るさ、突然、 な響まうさ思つて居るさ、突然、 たろく 虚 ない頃の、春のこさだつた。或る されい頃の、春のこさだつた。或る さ

の 一人の女が、彼の前に立つた。見 ・ ちゃんこで、背中に、子供を背負 ・ たんと、それは、まだ二十二三の小 ・ ここのかで、なくりしていません。 ・ たんと、これにあせん。 っに目か伏せてゐたが

運動を見て

いの長い婚國純社の城に添つて、













日

反満抗日の煽動

煙草のケー

スを密賣

73

杖曳く人のため

建設は既に十五名の投手によりこ建設は既に十五名の投手によりこ

博物館ご植物園ごが

動車は松芝、撫順間でては意義ある國道で

面目を一新して待つ

交通地獄の受難者

廿五歳から卅歳迄が一番多い

本一層高めるに至つた又横物館 を一層高めるに至つた又横物館 を一層高めるに至った又横物館 を一層高めるに至った又横物館 を一層高めるに至った又横物館 のを開発をしたが、その人知 のを開発をして、その人知 のでなく花を変わるば でなるであるが、一般でなっても、 のを開発をして、その人知 のを開発をして、その人知 のを開発をして、その人知 のでなる所多く開東を他が開まっても にでするが、一般であるば、 にでするが、一般であるが、 にでするが、 にでが、 名を晴した事で濃莹の温度。名雲共に完備せるものでなつた。解し完備し株に機物に正確。て旅順の博物館機物園は隔着よりの供給を使いまで一般人のたかはり重にオヒコウモモ、ライラの機敷者佐藤潤平氏により、メッカ、モミ、自権等の常盤木にの機敷者佐藤潤平氏により、メッカ、モミ、自権等の常盤木にの機敷者佐藤潤平氏により、メッカ、モミ、自権等の常盤木に 手を換へ品換へ 陽光へこうこがれる者が男女が日中歳の冬籠りから解放され頭かな

日さ多いので開東職保安課では

動車の四六一性自動車の一一〇個 の最も多いのは何んさ云つても自 のではをは殊に注意を要する、事故

能車の一〇七件であるが最も注意 できは死傷者にして最も多數を がして唐る事は二十五歳より三十

。 生八|五九三四三五〇三三

除年間補東指導の地位にあった下の食制會長兼関東分會長さして十

り正午前後が一番製造業か多い事四四七代が筆頭でその時刻は大服

である

- ク入り煙車ケース五千備を一国 かに電捌いて居ることを監局にお利権、国宣達職)のボ攻字のマ 萬備騰人と自家製の嬢糖に入れ密展派煙車のケースを利用と(搬 信濃町帯流煙車の部がこれを敷十一度高の電鉄を行つてゐる南方で 上版の雲泉煙車公部がこれを敷十一度の雲泉煙車公部がこれを敷十

權威者が集り 津浪座談會 七二八 元

能工二日午前九時より東北帝大仙蹇三日登』日本教學物理學會 數學物理學會大會

話電

院武天皇祭を祝賀す

さ各方面から研究した奥味ある。樂等を聞いても能率の低下はな 鮮人農村襲撃され

八が亂鬪

展示日全域、四名の憲死の軍傷者 は一人の大力を指揮以下巡査十四名は登 に一人の大力を指揮以下巡査十四名は登 は、本資が表のを開着を出てに至り、 は、本資が表が、四名の憲死の軍傷者 ゆうべ本溪湖附近で おるだけに地権問題による

あるだけに地権問題による衝突で土地権のために撃つて来た場所で

無錢飲食し逃亡

7

ン役野本

は、山崎県一技師が は、山崎県一技師が は、山崎県一技師が は合せて考察したも が選事は右につき勝 が合せで表際したも が、清水博

シカ

ゴ博出品

滿鐵特設館

滿洲人の家庭生活を

實物大の人形で紹介

軍からも数からざ

けふ神武天皇祭 各神社で遙拜式

警官療養所を

金州附近に設ける

警務局で豫算十萬圓

カので時間機動し有意義な金です。 中では、機動所の施設する事でなった、機動所の地ではである。 自動車道路 自動車道路 自動車道路 自動車道路

興京まで

撫順から延長

数」の大脚を購へして練武天皇祭 の実験りの空に高く「神威輝八 をの演奏りの空に高く「神威輝八

是市長代理近藤收入役、滿鐵總

東亞土木の出張員が

運頭山で建築石材を調査中

御殿瀬に御告文を長以下の供奉にて のが 「ハルビン二目数」 住木斯屯柴麻 二日 事標を下鵬椒事属に送る事に で の炭膚 数見 ごれば一行は遊頭山 地 が 一里平の地 監で入して
一文を
一次を
一次

原田沙河口署長、

終って午後五時半から津渓に闘す「隅いて食を終る事になってゐるをの他各種の研究養表行はれ、部員は午前九時から物理學部會、一日迄繼續開かれるが三日は午前 一年间の三陸震災地の視察を行び、計算は午前九時から物理學部會、中後に重り引減されているが三日は午前 一年前七時似業養で會員の一部が名別の一部の一段に関する。 る新界権秘書の座談會が開かれ四 日午前七時仙楽養で会員の一部が 中風の三陸監災地の講彩を行び獲 中風の三陸監災地の講彩を行び獲 ンな権き起してゐる

新星社(職場の多数到着二十級) 機段なる(四銭=七銭) 大連市西公園町二三大連市西公園町二三大連市西公園町二三大連市西公園町二三大連市西公園町上町 (四十〇十)

秦平の夢を破つた吉良仇討四十七播州が穏の後野家菩提守には元禄

とは常安かか會場として一般手殿として一般手殿が出の實物で者し公開が管理 右は一般事業の主か見世物等には一般事業が進められてゐる

偽中尉が十餘年間も

ト關で郷軍副會長

金の横領嫌疑から發覺

襖級

芳松商店

鄉軍分會對抗

銃劍術大會

は 大学 () を また大廣場軍が優勝

サンキュースキン防・産制に、二個十段

棒姫事件エピローグ た「寫異は火花を散らす統 院医 生 〇谷女パ

日 岡惠二氏 バルビン支店支配人代選日岡惠二 氏は『里子治市にて病氣養生中の 成三月三十日死去妻儀は四月二日 郷里において執行さた 天宝 住所籍 懸賞尋ね人 数一二、有眼下に小さき悪士一 新名 方 太 郎 一、顔の左右に「ルイレキ」 の痕跡ありて右の方が 大きい 太九

光 ◎第一回會期四月一日ヨリ ◎ 意員の方は青費さらて施炙一回に 育場 西公園町交番所前 後田鍼灸療院內

難病征

七月十日迄受付

神武天 執行

江州 川北北 と ウニ 本 市後所内中央委員部に 情報あつた で組立中であるが、来る八日空輸 は直に新京の軍司会部で命名式日 で組立中であるが、来る八日空輸 は直に新京の軍司会部で命名式日 ありの順会な衰した

露出炭層を 哈市下流で發見

英國製高級煙草 コルクロ分 十五人 金十四錢 在庫豊富





を種スタイル・ブツク・パリジャン會社特約店 ウキン市、シツク・パリジャン雑誌會社を選び同社のウキン市、シツク・パリジャン雑誌會社を選び同社の

専門三越の筋向 御豫約に應じます

カーバイト、ボイルドオイル・オイル・オイル・ 強 發 漁、石 油、機 派 油、モーター油 大連市山縣通一四一番地 屋 勝替大連五九四人番

邦文速記科新學期開始英和多年以上學院 自四月十五日

キャロ 新面切タバコ 味ひ、香り、値段 ての三つに申分なき キヤビタル TO COMPARTIES 金廿本銭入 電話四三〇八

=+ Ä λ C

お灸百歲會

適批電モ 宜把氣ク 麻業温サ 用灸灸灸

長 九州縣炎縣院前講師 後田近二郎

予

大きる一日午後十時頃達坂町飲食店 ・連でしたので一軒家では無綾 ま、連でしたので一軒家では無綾

大規模に行はれる部であるが、一部町の清郷作業場に於て一般に公 て六月一日から向ふ五ケ月開催の の出品物を取揃へ去る三十一日全 で、日本情に報い、日本情に報い、日本情に報い、日本情に報い、日本情に報い、日本情に報い、日本情に報い、日本時に記述し、日本で、日本情に報い、日本財命品での他

〇百年前十一時) 〇百年前十一時) 〇一百年前十一時) 一五 一五 一五 一五

北東の風曇一時晴

金壹百圓を謝禮す

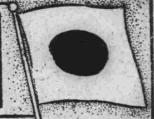
會葬 御禮

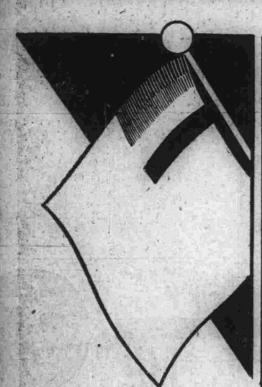
妻工藤トラヲ



五錢

介紹の品商大四本回





止上火

に一個は必ず御常備あれ 備した便利で重資な家庭常 最新醫學の治癒と豫防を兼 價定 - 8 = = +++



慰問袋には必ず 日本國産ペルメル を御忘れなく

部ルメルベ社會式株粉虫除本日大 三堀佐土阪大

なる 強くなる 菓子 おいしい 菓子

ハイ・グリコガ ンスキデ r

歐米品に断然優る

日本國産のペ

荷権脳の大製造、輸出をなしつくある本舗の製品なれば原料自給自足の爲



素養榮民國的濟經 建國 満洲國の皆様への贈物? 週年の お祝ひに 大阪道修町 伊藤千太郎商會



東鐵問題行詰る

森田交通部司長歸京

將の抱き込みに

將が策する

京太郎、同中島 光、同中島

で推薦したる者及び棉花耕作組 の代表者を以て組織で の代表者を以て組織で の代表者を以て組織で の地には支 で表者を以て組織で

科長范垂神科長光世倉吉、同巖務

ての他四名

竹中滿鐵理事

八日門司發歸任

像者は戦死

勇士の遺骨凱旋

四日うらる丸で出發

たの如し

馮肯んぜず

「或は戦場で相見えん」

民政黨研究を進む

でこれを開止せんさ でこれを開止せんさ

変をなり且つ

には多少の曲折はまねがれない 要が行はれるのでこれが取極め できれる筈であるが、三ヶ月の 定される筈であるが、三ヶ月の になれる筈であるが、三ヶ月の が行ばれるのでこれが取極め

會則及役員決定

會性のマイクを通じて再び全米、銀着直にドレムホテルに入つた 銀着直にドレムホテルに入つた

満洲國の實情を

以局を重視する國同

熱河の敗殘軍

流浪の旅を續

アーリー・テ ガラント氏談 期待を裏切らないこと

表面は平穏

滿洲國棉花協會

馬占山個人票 の注文指命により、かれて日ツウエート連商部は本國機關

與美術展覽會

フラン

ス美術の大集成

三省堂編輯所編

一般五十錢、學生三十錢、讀者割引四十錢 四月一日より七日まで 主

徒らに物情騒然

支那には驚い

地方部地方

のでは、アランスから指来されたバリ新興美術皮質含は管て北國に紹介された日佛藝術皮の如今に刺戟し貢献するセンセーションを建ら、まこさに繁異さ勝咳に低すべきものがある、明日の我國美術界を如何に刺戟し貢献する というの一切、新自然派の純正派、超更寛派、立際派、新野戦派、意楽派等一流大家の郷出跡さも云はれ、すでに三異にする、師ち現代前衛藝術の集敢なる冒険を試みついある二十世紀の巨匠バブロ・ピカソを先頭に常新なる工製にする、師ち現代前衛藝術の集敢なる冒険を試みついある二十世紀の巨匠バブロ・ピカソを先頭に常新なる工製にする、師ち現代前衛三派の北京の東京では、フランスから指来されたバリ新興美術皮質含は管て北國に紹介された日佛藝術展の如き客で集め師代品さい。フランスから指来されたバリ新興美術皮質含は管て北國に紹介された日佛藝術展の如き客で集め師代品された。 黎明な健ぐ人々に是非一見などうて止まぬ次策である 大連商工會議所樓上

一十九日謙孝の筈である、出餐に際 全後日本さ満洲國は經濟的に一 全後日本さ満洲國は經濟的に一 で、本ので大阪東京方面 で、本ので大阪東京方面 で、本ので大阪東京方面

營口に水産學校 滿洲國の漁業發展策 日本に於ける離工業を観察を東京に於て除艦の農林會議に発院方の生物でで三日午後二時二十分の安泰線でモ呂観察科長を帯方の安泰線でモ呂観察科長を帯方の安泰線でモ呂観察科長を帯方の

徐實業廳長

機械注文

のたらしむべく努力した。 はな慣用句……個々の單語が結成

小林司令官

就任挨拶

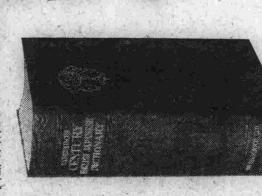
鄭總理等を訪問

見本 申込まれる

資源調查班

時級……固有名詞一覧、動詞・ 自を收めて學者の研究に便な ・副の比較、常用略語解等六十 一質を收めて學者の研究に便な

文法……右に併せて前置詞、文法……右に併せて前置詞、



頁裝挿例熟見 出 數幀畫文語語 特價三 三圓五十錢 一圓八十錢

最新

刊

節句に人形使節満洲へ

共在其余

満洲粟の特定税率

全廢は當分延期か

朝鮮側當局の意向

さきまる、高梁

―巴里新興美術展を見る

甲斐巳八郎

速に、そう」 る▲されば大谷光穏氏の如きは、 の如き力もはは質にピッタリ◆併しながら馬賊しの如き力もはは質にピッタリ◆併しながら馬賊しの知を指は、そう一 る▲されば大谷光穏氏の如きは、

四和女子楽學車 無試験集制 無試験集制

金馬が切り

有田トラック専売

日

製鋼を開始すればこれに要する石炭とき燃みがあり、昭和製鋼所が

てゐる、同公司の凝除は鬼職情でよりの一致してゐる、本家游戲的電子上表記が買り見るもが日本の重工業の愛港古い輸出を日露殿筆中大倉組が買り見るもが日本の重工業の愛港古い輸出を日露殿筆中大倉組が買り見るもが日本の重工業の愛港古い輸出を日露殿筆中大倉組が買り見るもが日本の重工業の愛港古い輸出を目標を表記されていません。

日滿合辦の會社組織に

こ浦も入つてゐるので 管然内 買收妥協は 結局成立せん 大胆(1) によっては昭和製鋼ので本間をは、野田技監一行の来滅によっては昭和製鋼ので本間をは、野田技監一行の来滅によって、大胆ので、別によっては昭和製鋼のであるので期待されてある。

本溪湖のもつ强味

擴張計畫說

鐵西工業地

◆前に大連郵便局の電信課の責任 をできるが嫌があるから、要受して居る形験があるから、要受して居る形験があるから、要に受験を報を受

(版內市)

本溪湖煤鐵

急轉直下せん

他へと異なるく、他変の脈においては何れてあるのでこの點においては何まるのではまいては何まるのではないでは何まるのがより必要されては何いました。

鞍山 さか同一經營の下にしてゐる

奉天の肇新窯業

蕃音

器並

大阪港西市岡町二丁目

蓄音器並

奉天工業地貸付

中旬までに解決

一段戦闘等

【奉天電話】 紫天螺形 脚川につき其機 い。 と響において際放する管で、脚市 熱真」は熟真だけでは 公署において際放する管で、脚市 熱真」は熟真だけでは と響には下工業地區収用につき其機 い。

自ら制肘されるものが

明石市外玉津村日輪寺郷有申込あれ無料送報す

野安全確實急品最新利五百部限 「経済・仕」 だる 十 「とる 十 「とる 十 「とる 十 「とる 十 「とる 十 「とる 1 「とる 2 「とる 3 「とる 3

がらう。夫からヴェズレ

話。西陣六七一番 湖 書店

千頃の

一つの試みさ

就後の國民よ、起て血清き、肉豚る・

丸岡糸店

第一八八三二號 府登錄商標

食料雜貨

店商一幸本江 日丁二町服吳市本熊

(番一四九二點電)

チョー 大販賣

本場淺

英國製

蕃音

器

並

番四店备回通大时速浪市運大,店分 地番町 通业大市通太 店支

野澤ゴム株式會社

グド

呈グロタカ

スムム

大連神社御造營に關しては氏子各位の深甚なる御奉仕に因って社殿其他最も莊嚴に強なる御奉仕に因って社殿其他最も莊嚴に強動が詳の結晶と深謝仕候然るに今後幾多に御敬祥の結晶と深謝仕候然るに今後幾多社として恥ずる事なく御神慮に副よべく決居る向は轉居先御通知を請以一般の御關心を仰ぎ御造營事業を完成し大大連市の氏神を仰ぎ御造營事業を完成し大大連市の氏神を加さして恥ずる事なく御神慮に副よべく決として恥ずる事なく御神慮に副よべく決としている。

帖 经线线线线线

小罐、進物用箱入各種遠近 (\$ ケ

國民の 日本は 非常時

强健 純無砂搗胚芽米: 音等軍隊の糧米は を切望す

北海道廳は混砂搗き 滋賀縣に次いで今又

日米の販賣を禁止せり

絶對無砂搗き色の白い 經濟 三拍子揃、

南滿保養院旅順医院御用 ヴィタミンABE含有 胚

大連精糧株式會社

發賣元

(米の芽藥用には無料進呈す)

香りの高い 本各地名産 さつばりごした味 珍

四十 錢 一五話電

Joy of the Taste

郞

山東苦力制限

實際にごうするか

り云へば浦洲郷幣の版本業は、松花のから、一部業は鉄物でしても鈴等品なるので見なって、ある▲光端氏されているる▲光端氏されているる▲光端氏されているる。

った得るは勿論、高楽の如う姿等数 一流を建設するに関るこの大標識か ある▲之れによりて飛楫交通の便 のある▲之れによりて飛楫交通の便

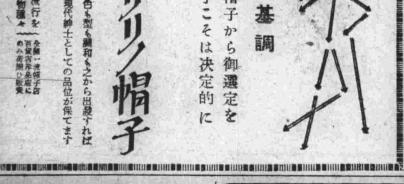
> は先づ帽子から御選定を その帽子こそは決定的

K

装の

調

優秀春物種本一のみ寄贈ひ販賣の新統行を一会機・液帽子店 代紳士としての品位が保てます



界各國

店

(三)



何佛師渡

日教』句佛大谷光波師は 日布教の途へ

)白軍渡邊避匍山下中堅(紅軍山本退き工廠投手

無極に振へら

てある

問

さたら中から出て来たのださいつ に「いやロシャ人の古小屋な壊」

金庫に

巴里新興美術展

も微笑むこの頃人氣百パーセント

で出来てゐたこは珍しい大往生

酒清

月

4

瀨

勇士 の遺骨來る

滿博の地鎮祭

酒

南昌號英人拉致事件

満洲國側では極力調査の歩を進め

でい いかご言はれて居る といいかご言はれて居る といいかご言はれてあるがこれは被害者本

事上高井郡日野村小川た

概さたり無形説しず辞じ、 告 田市三好町料理店、いせ屋方に登 大に登せ 料理屋女將 殺さる た小縣郡泉田村寫真ブツ 上田市の惨劇 安樂 椅

立ち自分の幕所を定

飲製靴は

人連浪速即三

百個な支援が後生な願いついい れて自ら石か選定し石塔代約七 れて自ら石か選定し石塔代約七

清

於第十五回(昭和八年度) 優等賞 金 關東州清酒品評會 受領



の無勢神画の攻撃に二十六新十一の機動・前半一中の奮戦物議と九野子 Ĥ 65野安武渡山和木 91木 大連俱樂部快勝

紅白試

高取勝つ鳥取勝つ

中京高業勝つ 中京高業別の日数1中京高業勝つ

放さ

三名の手紙を持つて

會株社式 町山電 は既製



一中ラグビー

藤51302000 尾52300100 澤42100010

田20000100 崎20000000 松20000000

91小 松20000000 3岩 瀬20100000 8高 須3000001 5北 島20100001 5北 本11002011 1山 本11100000 197 藤20100010 2志 摩40000101 本21000010

非常時』女學校

配屬將校の派遣方を

帝國女子藥專が上申

【大阪三日費】非常時日本の現版 一世したが多分質現でるものとみら 地の女子聚樹県門敷液では金属で駅 一日同校の理事者会で決定二日 を一日同校の理事者会で決定二日 を一日同校の理事者会で決定二日 を一日同校の理事者会で決定二日



大岩宝岩岩

御三賓・かがり火第一揃

其他 きめこみ人形・日滿金時・若葉人形等・

返品返金自由

金州は…多少に不拘無負にて

お節句が祭ります!

武者人形・・・の數々が出揃ひました驚る難段賑しく、武威いかめしき驚る風、躍る幟の大真鯉!・・・・・勝來を漂ぐ親の心こそ五月の空に



:四五七 • 九七三四話電



一日より

對支人取引の變移

奉天草分け座談會

東することが出来たのである。 東することが出来たのである。

それには城内の形況によく道時

思出の奉天を語る

旅順第一中學

人の如く戸主オを男子 二十有餘年軍の演繹さして海峡し た人の夫人に、或はチチハルにお た人の夫人に、或はチチハルにお た人の夫人に、或はチチハルにお

幼稚園兒が

我等のチー

後援會組織安東市民野球

期待外れの

傷病兵士を慰問

警察無電の

たいふに体かもせず手具歴明いて待職の全部機会ので記々薬師とであると、 一と、いふに体かもせず手具歴明いて待職の全部機会で記を持てので記々薬師とであると、 一般の登録振りで満寒師立即念目と、 一般の登録振りで満寒師立即念目と、 一般の登録振りで満寒師立即念目と、 一般でであるだ。本事独主低以下も些、養否を求めた結果、健成者非常に、 一般に徹底しなかった為でせ、一番の課題な為すに決定しては、名か 一般に徹底しなかった為でせ、一番の課題な為すに決定しては、名か 一般に徹底しなかった為でせ、一般認を得て近く謎の身と設定者の で記々薬師となると、 一般に徹底しなかった為でせ、 一般に徹底しなかった為でせ、 一般に徹底しなかった為でせ、 一般に徹底しなかった為です。 一般に徹底しなかった為です。 一般に徹底しなかった為です。 一般認を得て近く謎があると、 一般に徹底しなかった為です。 一般に徹底しなかった為です。 一般に徹底してあるが、若し質成者にして諸 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若しては、 であるが、若しては、 であるが、若しては、 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若しては、 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若しては、 であるが、若しては、 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若し質成者にして諸 であるが、若し質成者にある。 であるが、若しな、 であるが、若して、 であるが、若して、 であるが、若して、 であるが、若して、 であるが、若して、 であるが、若して、 であるが、 であるが、 であるが、 である。 であるであるであるが、 であるであるであるが、 であると、 でなると、 でなる。 でなると、 でなる。 でなると、 でなる。 でなる。

安東の動き

(安東」滿瀬の秋等、中等各際校 「東日小聚校が吉信校長の鞍山等任 「はか三名、大和小聚校が三名、選 「はか三名、大和小聚校が三名、選 「はか三名、大和小聚校が三名、選 「はか三名、大和小聚校が三名、選 蘇家屯に

現在の醫科大學に昇格しれて来た。これは大正上

はどうしても満洲人と手を握いて来たかさいふに、支那人のいて来たからではないかさ思ふ、であたからではないかさ思ふ、であたからではないかさ思ふ、であたからではないかさ思ふ、で思ふのに今後感天で融資する

うまさか接吻一つの未練で化けて

最はいたづらつばい魔で医情気

(四)

病院の母に感謝 遼陽で世話になりましたこ

は、新生子、根料室、平面室の を発展したがせられては其勢苦を思 でついるな理要式を製行したが、要 でついるな理要式を製行したが、要 でのでは、新生子、根料室、平面室の でのでは、新生子、根料室、平面室の でのでは、新生子、根料室、平面室の でのでは、新生子、根料室、平面室の でのでは、新生子、根料室、平面室の でのでは、かせられてというでは、 でのでは、 でのでは、 が、 でのでは、 が、 でのでは、 でのでは、 でいる。 でい。 でいる。 で

兵士一同から寄稿

を続う、或は浦籔の影験技師中村 旅高女入學式息にもつ若林兵吉氏の喜代子夫人 旅高女入學式 計明 をしない目はなかつがら一日さして病院の母さしてのから一日さして病院の母さしての を 【族職】 旅順高等女學校入學式は 来る六日午前十時から銀行、午後 来る六日午前十時から銀行、午後

一、聖德、金州、南京書院、天 一、聖德、金州、南京書院、天 澤各一名宛、魏子高、善廟店、 開原、四平街、魏漢、大石橋各 一名宛、魏子高、善廟店、 禁日一三、鞍山三〇、遼陽五、 計一五〇名

*從軍記者講演會

金州における盛況

奉天滿日の記者 軍から表彰さる

帝の悪路嶮峻を越え途に軸巖城 に入り最難局に立ちら當縁の惰 況を正確詳細に報道し以て其職 能を發揮はるは黄絹蓮の企及し 得ざる所にして交章報園の一端 に表彰す に表彰するもの主認む、仍て基 獨立宇備歩兵第六大隊長

事變以來の功勞顯著

『ひかり』の閑散

從業員も張合ひ抜け

云ひませんけごれし 一に思ったら甌分影感したでせう もう子供ちやないから一々はいからこれから緒々用心なさい

く外の川音に耳を潰ましたが 端枝はふさけた返事をして、 年分は本音だつた。 b た。のでスチームで濃まつた都屋に、 湯に入っては軽、入っては軽して なる質、少し水線の残ったやうな 繁態の無い白い鎖が、間房の外に は一歩り出ないて暮て支那の姿の たって、肉感能な流感味を持つてる。

「まあ、誰か来たやうだわ。嘘し、いのれ。もう一つ飲ふの部屋へ通 その時廊下に足音がして、間もなく空いてゐた隣室へ洒客が来た。 こ人四人の人をしい様子だった。三人四人の人をの都像が解って来た。 離れには最大の部屋が三つほど取ってあって

67

町街通

攻鉛

るませんでし

枚送るりまり

都京

本派

本願寺

團員

十二 日間 和 二十二 日 間 出 一 二 日 間 出

間日也

催主

大連市若草山(滿洲各地)大連市若草山(滿洲各地)

ます。師り神戸大連間乗船券差・申込ご同時に金拾圓拂込の事、も

日出團數發費

た、大阪各地、石山寺、三井寺、比叡寺、伊勢大大法要参拜後、京都各地、石山寺、三井寺、比叡寺、伊勢大大法要参拜後、京都各地、石山寺、三井寺、比叡寺、伊勢大大法要参拜後、京都各地、石山寺、三井寺、比叡寺、伊勢大村第になって居りますから何等の不安もなく敵を樂して放き架しき故郷への御歸りが出來ますから何等の不安もなく敵を架しい御巌行が出來、殊に脈籠は各地一等脈籠を選定し、常東、自動車、各所拝観料での他チップ迄も一切側費に含火で有ります。(海荷物は軽るい方が便利です) 本願書大法要参拜團な人の他チップ迄も一切側費に含火で有ります。(海荷物は軽るい方が便利です) 本願寺大法要参辞画を出版が組織行が出來、殊に脈籠は各地一等脈館を選定し、常東、自動車、各所拝観料での他チップ迄も一切側費に含火で有ります。 こにて本派本頭 守忠敬 鎌倉(特に東京より鎌倉へ遊覧自動車にて往復徒歩は至り 加 宿 泊 八 泊申 込 受 附(但し募集の內希望者に限る) 拝 圏 募 集 東京五泊、大阪一泊(大法要募集宿泊六泊、 開安奉奉撫遼大沙若信浪柳 河 石口狭濃速 作 原東天天順陽楊町町町町町 水能德寺武筑玉白土泰鎮橫門 地光尼撒 川井山 山原 家央屋紫 內 西吳太 洋具服脈 洋商商 服那

本溪湖で傳達

傳達式

お母さんな玩具にしてるんちやなものちやありませんよ。 ていやだいやだつて駄々かごれて でいやだいやだつて駄々かごれて でいやだいやだつて駄々かごれて

沙汰に続へしてゐた。世の方はもう深々 ムの金融に沿つて整椅子

てかするやうな人では私も思って なんだつたのが知ら。まさか人教 けいでせう。けど驚いたれ。そん ないでせらいけい 驚いたれ。そん くさこんな楽しい監証味が悪くな「……影山さんが死んだなんて聞 かしら」 つて御願ひしてるんぢやないの… してるんちやないの…

曠無寛氏(四九) ・ヨさんが同上 ・コさんが同上

るちやない

た真體の持つて行き所がなくなつ 冬の (構造地の宿の生活など、寝る時計を見るこまだ七時だつた。

| 「非常時」「人気」「春一切| | 四月十日著便(各題五句) | 開封二銭貼附(住所明記) | 集吟漢賞を呈す | 生吟漢賞を呈す 滿日柳壇課題 グロタカ

豫 頒 約 布 一警 込 申 -二話畫 • 通町祭街道庫市庫大

春のお化粧料は全世界に誇る 其他歐米谷國有名化粧品會社 (1) 髙新洋行 電話八二五九番 電話意構におどこれ「一二二九四東京京構區新田島西町三)五東京京構區新田島西町三)五

海 と空と 杉晋一郎作 史 (151)

「ちや出て、來た方がいいんです

が遙かに緊急して其處にはホテルのだった。だら便利な湯端子の方 泉地さ云へば此處と濃繭子の二つ ・ 旅遊域の驟から半里除も離れて なごが微に物の化の囁きのやうに なごが微に物の化の囁きのやうに なごが微に物の化の囁きのやうに でもない」

(二月二十五日養行) 橘族氏論 (二月二十五日養行) 橘族 (三月二十五日養行) 橘族 (三月二十五日養行) 人 (三月二十五日養行) 橘 (三月二十五日養行) 人 (三月二十五日養行) (三月二十五日子) (三月二十五日養子) (三月二十五日子) (三月二十五日養子) (三月二十五日美子) (三月二十五日子) (三月二十五日美子) (三月二十五日子) (三月二十五日子) (三月二十五日子) (三月二十五日子) (三月二十五日子) (三月二十五日子) (三月二十五日子)

取締役社長

昭和八年四月一日

T論、橋撲編輯 五日養行)橘樸氏論 取の補正ほか時評及び 取の補正ほか時評及び 取の補正ほか時評及び 取の補正ほか時評及び 財政の情で報を滿 が

製作販賣ヲ相營ミ候ニ就キ何卒倍虧ノ御愛顧賜度奉願上候社ト改稱致シ從來ノ如ク一般自動車並ニ軍用其他各種自動車製造株式會社トハ兹ニ合同ノ實ヲ舉ケ名稱ヲ自動車工業株式前掲ノ趣旨ニ基キ株式會社石川島自動車製作所及ダツト自動 ダット自動車製造株式會社 取締役社長 專務取締役

能

株式會社石川島自動車製作所